



工事のおおよそ

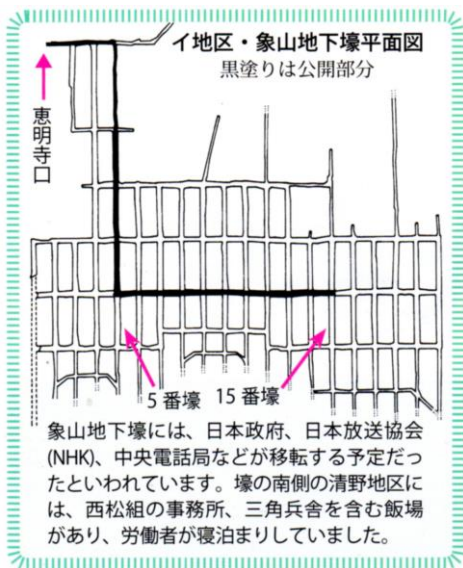
	倉庫名	場所（旧町村名）	工事命令	用途
①	イ号倉庫	埴科郡松代町象山	1944. 10. 4	政府・NHK・電話局
②	ロ号倉庫	埴科郡西条村舞鶴山	1944. 10. 4	大本営
③	ハ号倉庫	埴科郡豊栄村皆神山	1944. 10. 4	食料庫
④	ニ号倉庫	上高井郡須坂町鎌田山	1945. 3. 23	送信施設
⑤	ホ号倉庫	上高井郡都住村雁田山	1945. 6. 8	送信施設
⑥	ヘ号倉庫	上高井郡須坂町臥竜山	1945. 6. 8	送信施設
⑦	ト号倉庫	埴科郡清野村妻女山	1945. 3. 23	受信施設
⑧	チ号倉庫	上水内郡芋井村（善白鉄道）	1945. 7. 12	皇太子・皇太后
⑨	リ号倉庫	埴科郡雨宮村薬師山	1945. 7. 12	印刷局
⑩	仮 皇 居	埴科郡西条村舞鶴山	1945. 3. 23	天皇・皇后・宮内省
⑪	賢 所	埴科郡西条村弘法山	1945. 7. 12	賢所
⑫	海 軍 壕	上水内郡安茂里村小市	1945. 6. 26	海軍省・軍令部

松代大本営



NP0法人 松代大本営平和祈念館

〒 381-1231 長野市松代町松代1461
tel 026-214-1557 fax 026-262-1831



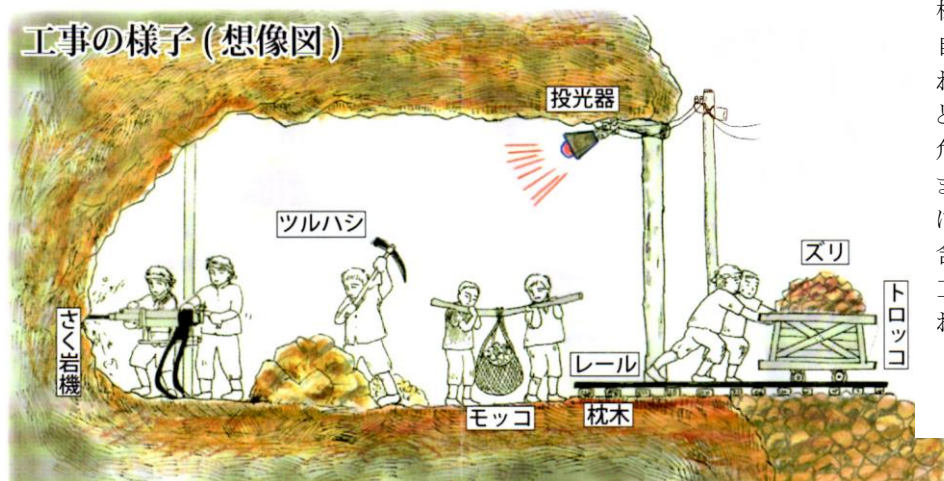
●なぜマツシロに大きなトンネルが掘られたの？

アジア太平洋戦争の終わり頃、アメリカ、イギリス、中国などの連合国との戦いに勝つ見込みがほとんどなくなってしまった日本では、陸軍を中心に、戦争を指導する偉い人たちを敵の空襲から守り、隠れさせる場所が必要だと考えていました。天皇・軍部・政府関係者などが松代に掘られた地下壕にこもり、戦争を指揮し続けられるようにと計画したのです。象山の地下には政府機関・日本放送協会 (NHK)・中央電話局を、舞鶴山には大本営・仮皇居を、皆神山には食糧庫を建設して、当時の天皇を中心とする国家の体制 (国体) を守ろうとしたのです。

1944 年から準備を始め、11 月 11 日には工事最初のダイナマイトがかけられました。地下壕工事は陸軍から建設会社がうけおい、「倉庫工事」として行われ、「大本営の建設」であることは極秘でした。工事は 9 か月間でおよそ 8~9 割が完成し、1945 年 8 月、日本の敗戦で中止されました。



工事の様子 (想像図)



●本土決戦って何？

1944 年 7 月、太平洋のサイパン島などマリアナ諸島に大型爆撃機 B29 の基地を築くの成功したアメリカ軍は、翌 45 年 1 月からは、軍事施設だけを狙った爆撃ではなく、日本中の大、中都市に無差別の徹底的な爆撃を行いました。この本土空襲で亡くなったのは 45 万 8000 人余りと言われています。(ヒロシマ・ナガサキの原爆被爆者を含めます)

国民は毎晩のように続く空襲におびえて暮らしていました。やがて日本本土に上陸してくる敵兵と戦う「本土決戦」では、女性や子どもまでもが、武器も弾薬もないので、代わりに竹やりを持ち、最後の 1 人になるまで戦い、天皇のために命を投げ出す覚悟をさせられていました。国の指導者たちがあくまでも戦争を続けていたことの目的は、仮に戦争に敗れたとしても、その後も当時の天皇を中心とする国家の体制を維持するためだったと言われていました。

●大本営って何？

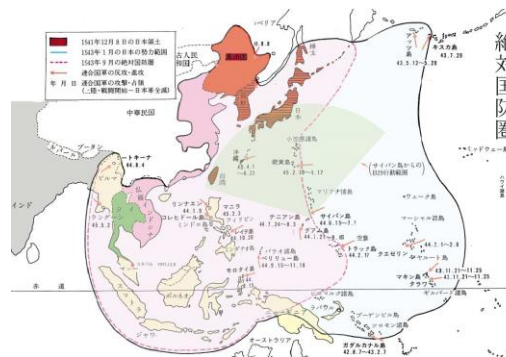
大本営とは、戦争の時に、日本の軍隊 (陸軍と海軍) の指揮をとる最高司令部です。陸軍や海軍の参謀 (作戦を練る将校) が立てた作戦をトップに立つ大元帥である天皇に申し上げ、天皇の許可をいただいて、軍人たちに命令を出すのがその役目でした。

その役割を果たすため、ありとあらゆる情報がここに集められましたが、日本軍が戦って敵を倒せば実際以上に大げさに報道し、逆に負けて被害が出た時などはそのことを全く伝えないなど、国民に対して徹底的な情報操作を行いました。大本営は、1937 年からの日中全面戦争で、首都・東京の皇居内に置かれていましたが、1944 年秋からの空襲を避けて戦争指揮を続けるため、陸軍は地方のどこか安全なところへ移転させようと考えました。

●だれがトンネルを掘ったの？

地下壕掘りの中心になったのは朝鮮人労働者たちでした。日本の植民地だった朝鮮半島からむりやり連れて来られた人たちを含め、6500 人ほどが、

松代の不衛生な小屋で、自由のない生活をさせられ、日本人の 4 分の 1 ほどの安い賃金で昼も夜も危険な仕事をやらされていました。1945 年 4 月ごろには日本人の勤労報国隊を含め 1 万人ほどが松代で工事に関わっていたと言われています。



●なぜ信州マツシロが良かったの？

工事に関係した人々の証言を合わせると、マツシロの利点は次のようにまとめられます。

- 1 地理的なこと: 首都・東京から遠すぎず、近すぎないこと。また 飛行場が近くにあること。
- 2 地質的なこと: 硬い岩盤の地層があり、敵の空襲の爆弾に耐えられること。
- 3 地形的なこと: 山に囲まれた盆地なので空襲を受けにくいこと。また地下に広大な施設を作れるだけの面積があること。
- 4 信州では工事に必要な多くの労働力が得られそうであること。
- 5 信州は読み方が「神州」に通じ、天皇の移転先にふさわしい品位と風格があること。

●マツシロとオキナワって関係あるの？

1945 年の 4 月 1 日、那覇市のある沖縄本島に米軍が上陸し、国内で唯一の地上戦が行われました。非戦闘員である住民を巻き込んだ戦闘は 6 月 23 日 (現在の沖縄慰霊の日) まで続き、沖縄県民の 4 分の 1 が亡くなりました。この 3 か月に及ぶ戦いは、やがてくる本土決戦の準備 (マツシロの地下壕建設もそのひとつ) のための時間稼ぎだったと言われています。

連合国が無条件降伏を迫るポツダム宣言が 7 月 26 日に出示されましたが、日本の政府はこれを無視して戦争を続けました。8 月 6 日にヒロシマ、9 日にはナガサキに原爆を落とされ、ソ連が参戦。ようやく 8 月 14 日にポツダム宣言を受け入れ、15 日に天皇が国民に向けてラジオで玉音放送を行って終戦を宣言しました。